

★水深120メートル付近で当日最大1.2キロが登場



南房江見太夫崎出船 撮影●鈴木良和

南房のオニカサゴ有望 交じるゲストも魅力

▲巻き上げ途中で断続的に引き込めは本命の可能性大
◀常連の増田さんが4尾を釣り竿頭



▲仕掛けはテンピン式2本バリ、オモリ150号。エサは持参でサバやサンマの切り身など
▶カンコのダブル



▲良型のキダイも
▶江見沖の水深90~120メートル前後を流した



▶オニカサゴは1キロ前後がアベレージ
▼アラも交じる



釣り物豊富な南房エリアで中深場の人気魚といえばオニカサゴ。江見太夫崎の鈴丸ではリクエストで周年オニカサゴを受け付けており、2名からの少人数でも出船してくれる。9月下旬の取材日は、あいにくの強風と二枚潮で釣りにくい一日となったが、それでも手を止めずに誘い続けた常連さんが1.2キロの良型を筆頭にトップ4尾、ほかアラ、カンコ（ウツカリカサゴ）、ホウボウ、アヤマカサゴ、キダイなどを交えて賑やかな釣果となった。潮具合など条件がそろえばさらなる釣果アップも望めるだろう。（詳細は52ページ参照）

▲アヤマカサゴも定番ゲスト
▶ホウボウとアラの一荷



●南房江見太夫崎 鈴丸・鈴木 武男船長